

東京都知事候補各位

要望と質問

7月31日の都知事選投票日に向け、ご奮闘中のことと思います。いろいろな政策をお持ちと思いますが、今回、急ではありますが、世界遺産を推薦するイコモス（国際記念物遺跡会議）の日本国内委員会が以下のような声明を出しました。

2016年7月11日

外苑絵画館前からの富士山眺望の保全に関する声明

日本イコモス国内委員会

委員長 西村幸夫

第13小委員会（眺望遺産）主査 赤坂 信

昨夏に旧国立競技場が解体されたことで、外苑絵画館前から富士山が望めるようになったことに多くの人に関心を寄せています。絵画館がある一帯では、江戸期に北斎や広重によって富士山が描かれており、付近の神社には富士塚が現存するなど、地形的にも歴史的にも富士山がよく見えていた地域でした。

明治神宮外苑の計画が進められた際も、敷地は当時、広々とした青山練兵場であり、そこから望む富士山を外苑全体の配置計画の手掛かりにしたことは自然な成り行きと考えられます。現在、都心の山手線の内側で富士山の山頂と両翼を眺められる場所は非常に貴重です。

目下、新国立競技場の計画が進行中ですが、新しい計画の中に富士山への眺望線の確保を望みます。絵画館前からの富士山は、都心に残された比類なき価値を有する眺望遺産であり、2011年のパリのイコモス総会で、富士山への眺望を文化遺産と認めた議決 17GA2011/21（次ページ参照）の精神に則って、日本イコモスは、多くの国民が訪れる計画地内の一般的な公共スペースからの富士山の眺望保全の必要を広く社会に呼びかけます。

以下略、URL 参照

http://www.japan-icomos.org/pdf/subcom13_jpicomos20160711.pdf

私たちは、神宮外苑の環境保全と旧国立競技場を改修して使おうと訴えて、

2013年秋より活動を始め、9万人近い賛同者を持つ市民団体です。惜しくも旧競技場は壊されましたが、巨大で電気仕掛けの閉鎖的な旧案を白紙撤回させることができました。現在、新コンペによって選ばれた新国立競技場が建築されている途中です。

一方、旧競技場解体により、聖徳記念絵画館前からは今まで隠されてきた富士山の全き姿が現出し、眺望を楽しむ人々も増えています。

日本イコモス国内委員会の声明は、世界遺産でもある富士山の眺望は、江戸以来のかけがえのない文化遺産であるとし、「新国立競技場計画の中に眺望線の確保」「計画地内の一般的な公共スペースからの富士山の眺望保全」を要望しています。

新国立競技場の建設は国の事業ですが、その周辺整備は東京都の負担で行われることになっています。

この声明を、都知事候補である、

あなた様は支持なさいますか？

それとも支持なさいませんか？

また東京の景観や眺望について、お考えがありましたら、コメントをお願いしたいと思います。

お忙しいとは思いますが、景観や文化遺産、環境に関する大切なことですので、来る7月25日までに、お返事を頂ければ幸いです。各候補のお答えは当会ホームページ等で都民の前に開示します。メールでのご回答でも構いません。恐縮ですが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

神宮外苑と国立競技場を未来へ手わたす会
メールアドレス info@2020-tokyo.sakura.ne.jp
ファクシミリ 03-6380-8812
ホームページ <http://2020-tokyo.sakura.ne.jp>